

奈良県川上村インターン報告書

神戸夙川学院大学観光文化学部観光文化学科3年

エ さわ子

○インターンシップに参加した動機○

以前に大学の授業の一環で、和歌山県の串本町という自然がたくさん溢れた地域で、東京の修学旅行生を現地スタッフとしてサポートするといった経験をし、もう一度地域づくりとはどういったものかを学びたいと思ったことがきっかけです。

○川上村での2週間○

* スケジュール *

1日目	初日！インターンについての説明を受け、源流館でむらづくりについて、環境条例についてお話を伺う。	川上村で地域づくりインターンを行う上で基礎となるお話を伺いました。
2日目	遊水フェスタの準備	奈良県市町村住民を対象とした川上村ならではの自然体験ができるイベントの準備。大きな流しそうめん台の組み立てなど、丸一日かけての準備でした。
3日目	遊水フェスタ当日	予想来客数を大幅に上回って大変大盛況となりました。私が担当していた「とんぼ玉風鈴作り体験」にも大勢のお客さんが来てくれました。
4日目	大辻さん宅でこんにゃくづくり体験	初めて、一からこんにゃくを作りました。できたてのこんにゃくは臭みも全くなく、いくらでも食べられるくらい美味しかったです。
5日目	水源地の森見学	お休みしました・・・
6日目	たる丸作り体験	春増さんに酒樽の素材であるたる丸の作り方を教わりました。間伐やチェーンソーで木を切る姿など全てが初体験でした。
7日目	自由	自分たちでスケジュール決め、各自行きたい場所に向かいました。私は保育所を訪問しました。

8日目	自由	源流館の木村さんに限界集落や、数ある神社、朝日館などたくさん場所に案内してもらいました。
9日目	かみせまつり	村民の方が多く集まるお祭りに参加させていただきました。村の盆踊りを覚えました。
10日目	匠のむら盆踊り	昨日に引き続き、盆踊りを踊り続けました。とても楽しかったです。
11日目	下多古村有林見学	樹齢380年生の吉野杉を目指して登山しました。その杉はとても大きく圧倒されました。
12日目	川上さぷり見学&ダム見学	川上さぷりでは、川上産材をどのように需要者にPRしているかなど、昔からのPR方法から現在行っているものまで、詳しく教えていただきました。また、ダム見学では、豪雨体験もし、昔実際に起きた災害を体験することができました。
13日目	報告会準備・・	明日の発表会に向けて、一日中準備をしました。

川上村の魅力を2週間という短い期間で堪能させていただきました。たくさんの自然、美味しい空気、川上村ならではの体験など、さまざまなことを体感し、とにかく思っていた以上に観光資源が多くあることに驚きました。その中でも、川上村で出会った人々の温かさは最大の魅力だったと思います。

○過疎化問題○

2週間のインターンシップの中で、川上村良い所ばかりでなく、抱えている問題点のいくつかについてお話を聞かせていただいたし、直に拝見させていただいたりする機会もあり、その問題の中核となる問題は、やはり「過疎化」だと思いました。人口が減るから、自動的に働く場所も減ってしまう。その悪循環がすべての問題につながってしまいます。

○村への提案○

1、吉野杉

川上村といえば、やはり吉野杉は欠かせないものであり、その魅力についてもインターンの中で学ばせていただいたのですが、やはり、現在の需要者が求めるものとズレが生じてしまっています。

吉野杉は、節が他のものと比べて少なく、丈夫で、実際に吉野杉で造られた床を裸足で歩くと、木が肌に吸い付くようなとても気持ちのいい感触がありました。

吉野杉にはそのような、大変価値のある特徴があります。しかし、それゆえ高額値でしか需要者に提供できないことがネックになってしまっています。

～消費者ターゲットを変える～

現在、日本の経済状況は衰退し、少しでも安いものを求める人が増えています。品質や物の価値を以前より重要視しない傾向にあり、消費者としてのターゲットには、大変難しい対象であると言えます。それゆえ、もっと視野を広げ、海外進出に目を向けて、海外の財産家をターゲットにしてほしいと思いました。特に、中国経済の高成長が続いている中、日本を訪れる中国人観光客の数も急上昇しています。まずは、その観光客を架け橋に、吉野杉の良さを海外の人々にも積極的に伝えてほしいです。

～ログハウス～

吉野杉で造られたログハウスに実際に住んでもらう機会を設ける。

吉野杉で造られた家を購入する人はあまりいないかもしれないけれど、短期間の宿泊を良質な木材で立てられた家で過ごしたい人はいると思います。まずは、奈良県の観光地として知名度の高い地域付近にログハウスを建設させてもらい、吉野杉だからこそ作られる、木の温かさを感じられる家を体感してもらってほしいです。

2、川上村を多くの人に知ってもらうために・・・

～修学旅行生を受け入れる～

私がこのインターンに参加したいと思ったきっかけでもある、学生たちがテレビ番組の「田舎へ泊まろう」のような体験を味わえる修学旅行を、ぜひ川上村でも行ってほしいと思います。このインターン事業も、村外の若者の新鮮な意見を聞きたくて、参考にしなくてはじめてというお話を伺いました。現代の若者たちにとって、川上村でできる体験・経験は、どれも初めてのことばかりで、修学旅行先の定番として有名な京都や大阪では味わえないような心に残るものになると思います。私たちのインターンがそうであったように、より多くの学生にそのような体験をしてもらえたら、と思います。

: <http://www.agara.co.jp/modules/dailynews/article.php?storyid=190498>

○インターンの感想○

川上村での経験は、私にとって忘れられないかけがいのものになりました。2週間お世話になった役場の方々、出会った全ての人に感謝しています。まだまだ2週間では知り尽くせなかった魅力が川上村にはたくさんあると思うので、今後も川上村に何度でも足を運ばせていただきたいと思います。ととても貴重な刺激的な体験をさせていただいて本当にありがとうございました。2週間お世話になりました！

